

「手作り顕微鏡 ～いろいろなものを観察してみよう」

呉工業高等専門学校 機械工学分野
講師 戸田 宏枝

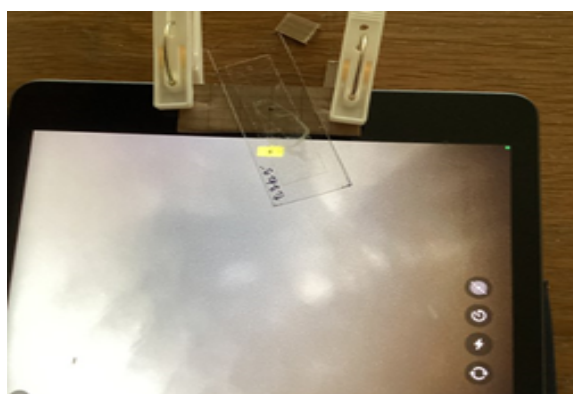
実施内容の概要：虫眼鏡で見える程度の顕微鏡を作成し、日常生活の中で使用する食品やものなどタブレット端末を用いて観察します。普段使用しているものがどのように見えるのか、自然現象を確認します。※時間により作成を省略します。

内容の詳細：

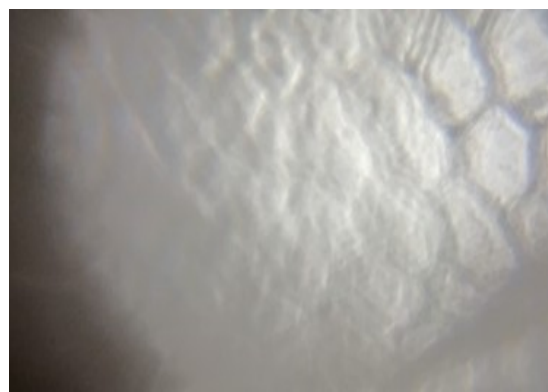
私たちの日常生活では、様々なものを使用しています。人は生きていく中で野菜や肉、味をつけるために調味料などを使用し、生活面ではティッシュなど生活になくてはならないものが身の周りには多く存在しています。

今回の出前授業では、虫眼鏡で見える程度の倍率（100倍程度）の顕微鏡を作成し、私たちの生活の身近にあるものを観察します。実験では手作り顕微鏡とタブレット端末を使用します。6名1グループとしてグループでの活動を行います。

手作り顕微鏡を作成することでものづくりの面白さを実感し、観察することで自然現象への理解を深めることを目的としています。



観察の様子



顕微鏡で見た玉ねぎの薄皮

観察するもの（こちらで準備します）

- ・綿棒
- ・玉ねぎの薄皮
- ・食塩
- ・砂糖
- ・トマトの皮 など



開催日：ご相談させていただき、日程調整します。

対象人数：6～40人程度（小学生低学年から参加可能です。）

時間：45分程度（観察のみ）顕微鏡作成の場合の時間はご相談させてください。

準備物：（グループでの準備）iPad（4名から6名で1グループに1台）、セロハンテープ、ピンセット、ティッシュ
（全員）筆記用具